

11月27日

テーマ：「ローマへの導き」

聖書箇所：使徒23章11節～24節、25章6節～12節

◆今日のみことば

その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかしたように、ローマでもあかしをしなければならない」と言われた。

使徒の働き 23章11節

◆メッセージ

ユダヤ教を捨て、キリストの伝道者となったパウロさんは、ユダヤ人たちに命を狙われる身となります。ユダヤ人たちはパウロさんを殺害しようと何度も企てますが、そのつど神さまに阻止されます。そのような中で、エルサレムで捕えられたパウロさんはローマの兵士に守られながら、ユダヤ人への弁明とあかしの機会を与えられます。ところが、あかしを聞いたユダヤ人たちは、「こんな男は殺してしまえ」とわめきたてます。<22章22節>



千人隊長は危険を避けるためにパウロさんを捕らえ安全を確保し、今度は祭司長や議会での弁明の機会を与えます。パウロさんも物怖じせず、どうどうとイエスさまをあかしすることができました。

その夜、神さまから与えられたのが冒頭のおことばです。「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしをあかしたように、ローマでもあかしをしなければならない」<23章11節>

神さまは世界の都ローマで福音を語るように、パウロさんに使命を与えられました。けれども、またもや40人以上のユダヤ人たちが徒党を組み、パウロさんを殺す計画を立てます。この計画も通報してくれる者が居て、パウロさんの知るところとなります。

そこで千人隊長は、たくさんの護衛兵をつけて、カイザリヤに居たローマ総督ペリクスのもとにパウロさんを護送します。パウロさんはローマ市民権を持っていたので、自らの裁判をローマ皇帝にしてもらいます。これによってパウロさんは、ローマの裁判でイエスさまをあかしするように導かれたのです。



パウロさんがローマでキリストをあかしすることは、神さまのご計画です。ですからそのご計画を果たすまでは決して命を狙われることはありません。神さまのみこころは必ず成るのです。そして、いつも神さまはみことばをもって励まし続けてくださいました。この神さまに従っていけるのは、幸せですね。

◆お祈り

「パウロさんを守ってくださった神さま。あなたのご計画は必ず成ると信じる信仰を与えてください。」

(武庫之荘めぐみ教会 牧師 松田吉広)